体操JAPAN OPEN60周年記念イベント

マスターズ体操ワールドカップ2027の開催について（案）

2022年全日本マスターズで実現した日本・ドイツ交流戦を契機に、2023年アインベック（ドイツ）、2024年ボストン（アメリカ）、そして2025年5月のライプチヒ体操祭において、ドイツをはじめアメリカ、イギリス他各国のマスターズ選手との交流試合を重ねてきました。

そして、いよいよ2027年10月、体操JAPAN OPEN60周年記念イベントとして、東京・アリーナ立川立飛にて「マスターズ体操ワールドカップ2027」を開催する運びとなり、現在準備を進めているところです。

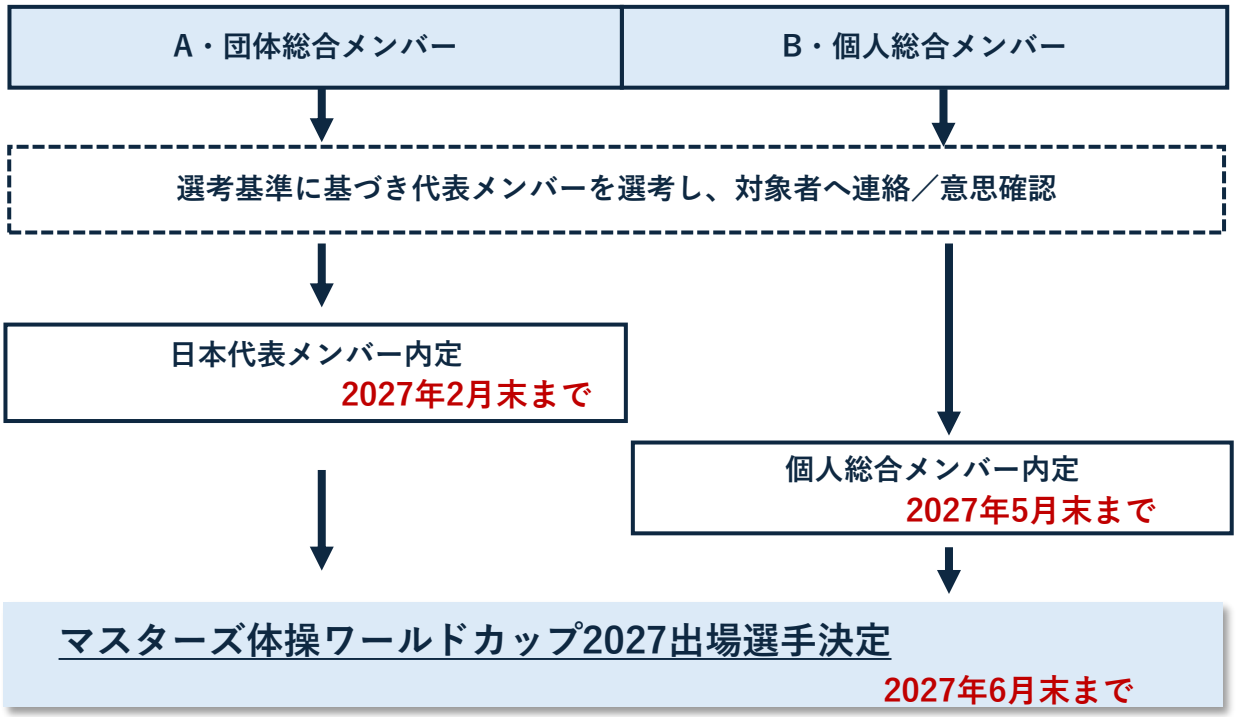
1．大会概要

主催　一般社団法人　全日本体操競技連盟
主管　マスターズ体操ワールドカップ実行委員会
場所　アリーナ立川立飛
日時：2027年10月27日（水）
※体操JAPAN OPEN 2027開催期間中に開催。

開催目的	本大会は、年齢にかかわらず体操競技に親しみ、継続的に挑戦できる生涯スポーツ環境の充実を図ることを目的としています。 大会開催を通じて、国内外の参加者、関係者、地域住民、観戦者が交流する場を設け、スポーツを通じた国際交流、相互理解及び地域のにぎわい創出を推進します。	
参加国と参加人数	9か国（ドイツ、アメリカ、イギリス、カナダ、アイルランド、オーストラリア、ブラジル、ニュージーランド、イタリア）が参加の意向を示しています。 参加者数においては、男女それぞれ約100名（合計約200名）が参加を希望しています。（2026年７月の意向調査結果） 最終的な参加者は、160人を想定しています。	
競技方法	団体総合 30代、40代、50代、60代、70代以上から２名＋ワイルドカード2名の計12名でチームを編成し、各種目を各年代1名が演技し、ベスト3の得点で競います。	個人総合 参加者全員が男子6種目・女子4種目を演技し総合得点で競います。 **採点ルールについては、各国間で協議して決定したルールを採用します。**
表彰	上位３位までにメダルと賞状を授与します。 ４位から６位までに賞状を授与します	

2．参加方法

参加を希望する国は責任者を決め、当該責任者を通じて実行委員会に参加申込みをします。
日本の場合は、実行委員会において下記のスケジュールで選考します。



参加費 30,000 円＋その他諸経費（ユニフォーム等）※全額自己負担となります

3．団体メンバー選考方法

男子：

・2026年全日本マスターズの個人総合得点により各年代上位１名を選考。
・各年代の次の１名は2024，2025，2026年全日本マスターズ大会の6種目の成績を考慮して選考。
・上記の基準をもとに50歳代以上からワイルドカードは２名を選考。
※年代にかかわらずすべて6種目合計で判断する。

女子：

・2026年全日本マスターズの個人総合得点により各年代上位1名を選考。
・各年代の次の１名は2024，2025，2026年全日本マスターズ大会の4種目の成績を考慮して選考。
・ワイルドカードは、上記の基準をもとに50歳代以上から２名選考。
※年代にかかわらず4種目合計で判断する。

①年代は2027年12月31日時点の年齢。
②個人メンバーの選考は、2026年全日本マスターズの個人総合得点により各年代上位者から順に選考。

お問い合わせ先：　マスターズ体操ワールドカップ実行委員会

責任者　篠原千代三　toshima.taisou.a@gmail.com

実行委員、当日スタッフも募集しています！ご連絡をお待ちしています。

YouTube JP

cultivator

2023年ドイツ大会、2024年ボストン大会、そして2025年ライプチヒ体操祭の様子は、YouTubeカルティベータチャンネルよりご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLVi-As1FCD75Wir82oYWydDIAppoJiMl7